

授業科目名・形態	コミュニケーション技術Ⅰ 講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
科目担当者氏名	藤田 博章	実務経験の有無	有	開講期	1 年前期

【授業の主題】

対人援助においては、クライアントと信頼関係を築くこと、どのように相手の話を聴けるかが関係性に影響を与える。そのため、対人援助職は、専門知識や技術を身に付けても聴く態度を磨いていかなければ、利用者・家族・多職種と信頼関係を築き相手を理解していくことが難しい。本講では、利用者・家族との支援関係の構築やチームケアを実践するための意義、技法、聴く態度を学ぶ。そこから、クライアントの生活支援に必要なコミュニケーション能力・態度を身に付けることを目的とする。

【到達目標】

1. クライアントの置かれている状況を理解し、信頼関係の構築や思いの表出を支援する観点から、介護実践におけるコミュニケーションの基本的な技術や態度に関して説明ができ、実践できる。
2. 家族全体を支えながら介護行為に繋げていくためのコミュニケーション技術の技法、態度について理解し、説明、実践できる。

【授業計画・内容】

- 第 1 回 オリエンテーション
- 第 2 回 介護におけるコミュニケーション
- 第 3 回 介護におけるコミュニケーションの対象
- 第 4 回 援助関係とコミュニケーション
- 第 5 回 利用者・家族とのコミュニケーション：傾聴
- 第 6 回 利用者・家族とのコミュニケーション：受容
- 第 7 回 利用者・家族とのコミュニケーション：共感
- 第 8 回 利用者・家族とのコミュニケーション：距離
- 第 9 回 利用者・家族とのコミュニケーション：相談・助言・指導の技法
- 第 10 回 言語コミュニケーション
- 第 11 回 非言語・準言語コミュニケーション
- 第 12 回 目的別のコミュニケーション技術
- 第 13 回 複数の利用者がある場面でのコミュニケーションの技法
- 第 14 回 集団におけるコミュニケーション技術
- 第 15 回 まとめ

【授業実施方法】

講義を中心とし、講義内容により動画、ロールプレイ、演習を取り入れた内容とする。

【授業準備】

授業前に該当箇所を読んで、分からないことを明確にしておくこと。また、学習を通じて自己のコミュニケーションに関する苦手なことを認識していくこと。

【主な関連する科目】

コミュニケーション技術Ⅱ、コミュニケーション論、介護の基本Ⅰ～Ⅵ、介護過程Ⅰ～Ⅴ、人間の理解Ⅰ・Ⅱ、生活支援技術論Ⅰ・Ⅱ、日常生活支援技術演習Ⅰ～Ⅹなど

【教科書等】

最新 介護福祉士養成講座 5 コミュニケーション技術（第2版）、中央法規、2022。

【参考文献】

必要に応じて、授業の中で適宜提示する。

【成績評価方法】

授業態度・参加意欲等 10%、小テスト・レポート 10%、定期試験 80%の総合評価とする。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

社会福祉士・精神保健福祉士として障害者就労支援施設、障害者グループホーム、放課後等デイサービスでの支援の実践の経験から、障害の特性に合わせたコミュニケーション技術を学び、実践で活かせる技術を理解できる授業の展開を行う。

【学生へのメッセージ】

介護福祉士、社会福祉士、精神保健福祉士、保育士の資格取得の目的だけでなく、日常の生活においてもコミュニケーションは重要です。また、介護福祉士の実習や社会福祉士の実習にもコミュニケーション能力が必要です。ロールプレイ・演習に積極的に参加し、分からないことを質問するなど主体的に講義に参加してください。